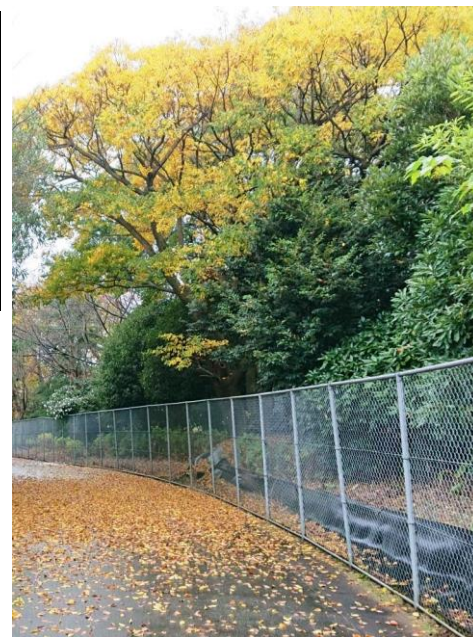


「家がいいね」 第199号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2020.12.1



コロナと共の冬へ

ハラリさんの提言「パンデミックに対する現実的な対策は、遮断ではなく、協力と情報共有です。新型コロナウイルスに対する私たちの最大の強みは、ウィルスにはできない形で協力できること」そうなのです。疑心暗鬼にならないで、助け合う気持ちが必要で、自分自身が生き延びるのが大変な時に、それでも手を差し伸べることがあるのではないですか。難民の別世界の話ではありません。匿（かくま）い、一夜の宿を貸し、食べ物を含み送り出す人は、少数でも古来より在ります。抜け参りの時代の伊勢参宮の接待は、四国お遍路の善根宿に残っているのではないですか。霧に巻かれた山道のように、見通しが利かない困難の冬になると思いますが、相談し助け合う道は、お互いが声を掛け合う安全な下山と同じです。

いちばん困ると思われるのは、発熱を伴う不調時です。相談手順を裏面に示します。

長田弘さんの詩「誰もきづかなかった」

そうでないのかそうであるのか、二つに一つ。間違っていないか間違ったか、二つに一つ。

嫌いか好きか、汚いかきれいか、青か赤か、だめかいいか、本当でないか本当なのか、うそじやないのかうそなのか、やめるか、それとも続けるか、敵でなければ味方、味方でなければ敵、世の中は万事が万事、二つに一つ。

考えるとは二つに一つを選ぶことである。

——そうだろうか。

そうでないのではないか。

なぜかって、二つに一つは、

結論を先にもとめて、過程をもたない。

しかし「考える」は選択でなく決断でない。

物事は二つに一つでなく、何事も

二つに一つだと考えないところから、

「考える」ははじまる。

たとえ誤りにみちていても、

世界は正解でできているのではなく、

競争でできているのでもなく、

こころを持ちこたえさせてゆくものは、

むしろ、躊躇や逡巡のなかにあるのではないか。

何だって正しければ正しいのではない。

温かく新年を迎えてね

12月29日(火)～

1月3日(日)まで休診

させていただきます。

この間も在宅の患者さんには対応させていただきますのでご安心ください。



いせ在宅医療クリニック

ise home care clinic

自宅での人生を

最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp

<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可

発熱時などの相談手順について

外来の患者さまへ



当院は予約で間隔を空けての診察が原則です。
(初診の方は、電話予約した日に配置しています)

コロナウイルスへの感染対策が必要になっており、当院の患者さまでも、発熱症状のある方は次のような方法での、「ご協力をお願いします」。

- 1 感染対策用の外来スペースがありませんので、扉を開けず、外から電話で相談ください。
- 2 症状をお聞きして、以下の方法を指示します。臨時薬で対応できる場合は、処方箋をファクスした薬局で、受け取る対応になります。
- 3 検査（インフルエンザ・コロナ）は実施できません。他院の発熱外来の紹介は可能です。やむを得ず診察が必要な場合は、決めた時刻に駐車場で「車に乗ったままで、ドライブ・スルーのような形」でのみ実施いたします。医師看護師は感染防御服を着用いたします。
- 4
- 5

訪問診療の患者さまへ

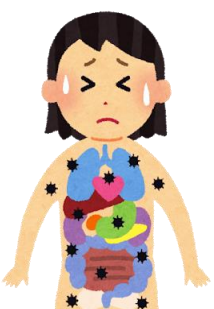
- 1 感染の状況を知るため、電話でお聞きします。何時から、どのように調子が悪いか、家族も体調の悪い人がいないかどうか、など。
- 2 症状をお聞きして、発熱の原因を推定します。誤嚥による軽症の気管支炎、膀胱炎や腎盂腎炎、膿瘍など、自宅で治療可能か検討します。臨時薬で対応できる場合は、処方箋をファクスした薬局で、受け取る対応になります。
- 3 病院への紹介もしますがコロナ対策は厳しく求められ、コロナ以外での入院になった場合も、家族の面会は制限されるとお考え下さい。
- 4 やむを得ず診察が必要な場合は、他の患者さんの訪問が終わった後に、往診いたします。
- 5 医師看護師は感染防御服を着用いたします。



コロナウイルス 豆知識

ウイルスは生物と無生物の間の存在です。襲ってくることはありません。鼻や口から細胞内へ取り込まれて、増殖し排出活動をするものです。防御とは、まず身体の中に侵入させないことなのです。

旧型コロナは風邪を起こす普通のウイルスです。新型コロナウイルスは意地の悪い特徴があり、症状を示し人に気付けられる前に、早くも感染してしまいます。体力の落ちている人の内臓をイジメ、間質性肺炎など臓器不全を急速に進行させてしまいます。



コロナ感染を避けたいと思っても、すでに蔓延期になっているので遭遇の機会はあるかもしれません。心配な症状を考える時は、まず相談をしてください。春先と違い、保健所に連絡するだけでなく、医療機関が、その相談先として機能を始めました。

検査が必要な場合は、クリニックや夜間診療所では実施できない現状です。検査だけ実施し、結果が後日に連絡される発熱外来は、伊勢市で2カ所あります。ここへの紹介は、各医療機関を通しての予約でお願いしています。保険証も必要です。

コロナウイルスにも弱点があります。手に付いたものは、30秒の手洗いで駆除されます。マスクは、飛沫で体内に侵入するウイルス量を減らせます。乾燥する時期では、換気に加えて、加湿をして環境を整えることも必要でしょう。湿度は40%以上を目指したいですね。

